

協会創立50周年を迎えて



山梨県テニス協会

元名誉会長 勝 俣 貢

山梨県テニス協会は、昭和41年5月14日に創立され、めでたく50周年を迎えることができました。これも創立以来、多くの方々のご指導、ご支援のたまものと心より御礼申し上げます。

山梨県は軟式テニス王国のため、大会運営や普及活動が大変でした。しかし、このような状況の中で、関係する方々の工夫と努力により事業の推進が図られ、昭和52年第32回青森国体に成年男子が出場、1回戦地元青森県を破り、2回戦愛知県に敗れましたけれど、以後県テニス界の意識が高揚され、選手強化、普及活動に盛り上がりが見られ、非常に喜ばしいことでありました。

特に、昭和61年第41回「かいじ国体」では、施設設備から選手強化まで各関係方面より多大なご支援、ご協力を賜りましたおかげで、成年男子が優勝、成年女子3位、少年男子5位、少年女子3位となり、天皇杯、皇后杯を獲得し、テニス競技として初めて開催県が総合優勝という快挙を成し遂げることが出来ました。

その後、国体では成年男子は12回出場し、3位2回、5位1回、成年女子は7回出場し、優勝1回（平成26年度長崎国体、初優勝、皇后杯を獲得）、6位1回、少年男子は15回出場し、8位1回の成績あげており、これからも良い成果を上げられるものと期待しております。

現在、テレビで錦織選手の活躍が報じられ、テニスに対する認識も高まりつつあります。テニス協会はこの機会をとらえ、よりいっそう参加しやすいプログラムを提供して、テニスの普及と競技力の向上を推進されますようお願いいたします。